

科目名	発達障害幼児療育法						
授業形態	演習	学年	2年	開講時期	後期	単位数	1単位
担当教員	市川 和彦						

内容および計画	本演習では発達障害幼児の特性と関わり合いの理解と技術を基礎に、特に行動障害の理解と対応について取り上げる。主な療育法について実技・事例検討を取り入れながら学ぶことで、発達障害幼児と関わるうえでの保育者としての実践力の向上を目指す。取り上げる主な療育法としては「遊戯療法」「ジェントル・ティーチング」「受容的交流療法」「行動療法」「TEACCH」「触れる関わり」「音楽療法」「ダンス療法」等を取り上げる。
1	オリエンテーション、発達障害概説～発達障害とは何か～
2	発達障害療育法(1)人間関係アプローチ 遊戯療法 受容的交流療法 ジェントルティーチング 抱っこ法
3	発達障害療育法(2)行動分析アプローチ 行動療法 応用行動分析 TEACCH
4	発達障害療育法(3)身体機能改善アプローチ 感覚統合法 動作法 運動療法
5	発達障害療育法(4)各アプローチの包括的理解 事例検討
6	ムーブメント教育(1)(ダンスムーブメント)
7	ムーブメント教育(2)(音楽ムーブメント・音楽療法)
8	行動障害の理解と対応(1)こだわり
9	行動障害の理解と対応(2)自傷
10	行動障害の理解と対応(3)パニックと他傷 暴力と他傷の理解
11	行動障害の理解と対応(4)パニックと他傷 対応と予防
12	行動障害の理解と対応(5)事例検討
13	保育者の怒りのマネジメント
14	触れる関わり～子どもが安心できる温かい風土をつくる～、タッチング・ケア
15	触れる関わり～子どもが安心できる温かい風土をつくる～、シンクロダンス

教科書	タイトル	虐待のない支援～知的障害の理解と関わり合い～		
	著者名	市川和彦編著	出版社	誠信書房
	ISBN		発行年	2007

参考書	
-----	--

成績評価	
------	--

学習到達目標	発達障害についての正しい理解と実際に現場で用いることのできる療育法について身につける。
--------	---------------------------------------------

先修条件	
------	--

その他	サブテキストとして以下を使用しますが注文は授業開始後、市川が注文を受けます。 市川和彦・木村淳也「施設内暴力～利用者からの暴力への理解と対応～」誠信書房, 2016 ISBN978-4-414-60156-5-C3036
-----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------